

市町村議会議員特別セミナー

(5月9日～5月10日)

5月9日・10日に、「市町村議会議員特別セミナー」を開催しました。今回のセミナーには、全国各地から106人の市町村議会議員の皆様にご参加いただきました。



渋谷 和宏氏

初めに、「地域経済の行方と地方創生」と題して、経済ジャーナリストで大正大学表現学部客員教授の渋谷和宏氏から、これからの新たな地域経済の可能性や、企業や組織を飛躍させ「輝く地域」を実現する「輝く人」の条件等についてご講演いただきました。参加者からは、「地域を元気にするには何をすべきかを具体例で分析した、地方議員のニーズに応えた内容だった」、「ポイントをわかりやすく教えていただいたので、大変有意義だった。もう少しお話を聴きたいと思った」、「興味のある事例を通しての視点にとっても納得した。ピンチをチャンスに変えていく「聴く力」、相手の声を引き出すことの大切さ等、本当に素晴らしい講演だった」、「過去の常識にとらわれることなく、問題意識を持ち続け、変化を捉えることが大事だと学んだ」などの感想をいただきました。

続いて、「アフターコロナとSDGsのまちづくり」と題して、株式会社ローカルファースト研究所代表取締役の関幸子氏から、コロナ禍後の新しい社会像や社会的価値観、産業構造や人々の行動変化、地方創生と持続可能なまちづくり等についてご講演いただきました。参加者からは、「今までの考え方とは真逆の視点が多く、大変参考になった」、「素晴らしい内容で、誰に話しているのか、何が聴きたいのかをしっかりと捉えていた」、「時間が足りないと思うほどよい学びになった。首長にも受けてもらいたい講演だと思った」、「経済の流れや好循環社会に向けた取り組みを実体験や仕組み等を交えて教示いただき、とてもよかった。議員のあり方など変化を考えなければと思った」などの感想をいただきました。



関 幸子氏



江藤 俊昭氏

2日目は、まず、「地方議会改革の進め方」と題して、大正大学社会共生学部公共政策学科教授の江藤俊昭氏から、住民自治の根幹としての議会の意味や、議会基本条例と議会の政策サイクル、新たな議会を創り出す条件整備等についてご講演いただきました。参加者からは、「近年の議会改革の流れと現状を知る良い機会になった」、「日々の議会活動に直結した内容だったので、とても参考になった」、「学術的な面から勉強になり、疑問に思っていたことが全て解けた最高の講義だった」、「議会改革第2ステージとして、改めて議会の役割を整理できた中身の濃い講義だった」などの感想をいただきました。

最後に、「[共存] から [共生] へー外国人住民を交えた地域づくり」と題して、芝園団地自治会事務局長の岡崎広樹氏から、住民の半数以上が外国人である埼玉県川口市の芝園団地において、住民同士の共生を実現するために行った取り組みや、地域コミュニティの課題と考え方等についてご講演いただきました。参加者からは、「外国人と日本人が共存する必要性と方法を具体的に説明いただきとても良い講演だった」、「問題と現状を明確に話され、強い想いで取り組んでいるのでしっかり伝わってきた」、「自分の地域でも考えていかなくてはならないと思える、とてもわかりやすく楽しい講演だった」、「貴重な経験をもとに分析された結果をもとに活動した成功例であり、説得力があった。今後の地域づくりに活かしたい」などの感想をいただきました。



岡崎 広樹氏